

1:1 神の福音のために選び分けられ、使徒として召されたキリスト・イエスのしもペパウロ、

1:2 ・ ・ この福音は、神がその預言者たちを通して、聖書において前から約束されたもので、

1:3 御子に関することです。御子は、肉によればダビデの子孫として生まれ、

1:4 聖い御霊によれば、死者の中からの復活により、大能によって公に神の御子として示された方、私たちの主イエス・キリストです。

1:5 このキリストによって、私たちは恵みと使徒の務めを受けました。それは、御名のためにあらゆる国の人々の中に信仰の従順をもたらすためなのです。

1:6 あなたがたも、それらの人々の中にあって、イエス・キリストによって召された人々です。 ・ ・ このパウロから、

1:7 ローマにいるすべての、神に愛されている人々、召された聖徒たちへ。私たちの父なる神と主イエス・キリストから恵みと平安があなたがたの上にありますように。

パウロの自己紹介です。彼は自分のことを「キリスト・イエスのしもべ」と言っています。この世の立場や実績よりも、イエス様との関係が何よりも重要と考えているのです。それこそがクリスチャンの自己像です。

また単なるしもべではなく、このイエス様がいかにか素晴らしい救い主であるかが、そこに宣言されています。私たちも自分自身を、神様の救いのみわざとの関係で理解するなら、揺るぎなくまた肯定的な自己像が確立できるのです。

そのように自分を見て、また人生を見て、そして人にも見られるようにしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

